

2026-1

今月の  
"心にひびく言葉"

ミゲル・デ・セルバンテスのことば。

スペインの作家で有名な小説『ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ』の著者。セルバンテス自身は波乱に満ちた生涯を送るが、著書の『ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ』は同時代、後世の作家に大きな影響を与え、2002年には「史上最高の文学百選」で1位を獲得している。

そのセルバンテスのことば。説明はいらないですね。

「そのうちやる」  
という名の通りを歩いて行き、  
行き着くところは  
「なにもしない」  
という名札のかかった家である。